

## 会 議 録

□全部記録 ■要点記録

<b>1 会議名</b>	令和5年度第2回姫路市地域ケア推進協議会
<b>2 開催日時</b>	令和6年2月21日（水曜日） 10時00分～11時40分
<b>3 開催場所</b>	姫路市総合福祉会館5階 第2会議室
<b>4 出席者又は欠席者名</b>	地域ケア推進協議会委員10名 (事務局) 地域包括支援課、介護保険課、高齢者支援課
<b>5 傍聴の可否及び傍聴人数</b>	傍聴可：傍聴0名
<b>6 議題又は案件及び結論等</b>	(1) 地域密着型サービス等運営委員会 ①地域密着型サービス事業所の整備状況に関する報告  (2) 地域包括支援センター運営協議会 ①地域包括支援センターの運営に関する報告 ②地域包括支援センターの实地指導及び監査の実施に関する報告
<b>7 会議の全部内容又は進行記録</b>	詳細については別紙参照

事務局 (地域包括支援課)	<p><b>1. 開会</b></p> <p>第2回姫路市地域ケア推進協議会を開会する。</p>
長寿社会支援部長	<p><b>2. 挨拶</b></p> <p>皆さまには、日頃から姫路市の介護・福祉行政の推進にご支援・ご協力を賜りまことにありがとうございます。</p> <p>今年度2回目の会議となりますが、今会議では、地域包括支援センターの活動実績を中心にご報告したいと考えておりますので、忌憚のないご意見を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>(委員紹介は2回目のため省略)</p>
事務局 (地域包括支援課)	<p>議事進行について会長へお渡ししたい。</p>
	<p><b>3. 協議</b></p> <p>(1) 地域密着型サービス等運営委員会</p> <p><b>①地域密着型サービス事業所の整備状況に関する報告</b></p>
会長	<p>事務局より報告をお願いしたい。</p>
事務局 (高齢者支援課)	<p>【資料1】「地域密着型サービス事業所の整備状況に関する報告」に基づいて説明。</p> <p>(質疑応答)</p>
会長	<p>新しく1事業所が開設したが整備計画でいうと、順調に、計画通り進んだということか。</p>
事務局 (高齢者支援課)	<p>当初の計画の予定で進めているが、説明会も実施しているが、なかなか手が上がらなかったところが現状。</p>
B委員	<p>在宅を支える意味では、この定期巡回型や訪問介護事業所が各圏域に、1つは欲しいという事だったと思う。1つ増えたのは喜ばしいこととは思いますが、説明会には何件ぐらいの参加があったのか。</p>

事務局 (高齢者支援課)	<p>説明会をオンラインで開催、定期巡回のほか特養や、グループホーム等の説明もまとめて実施したため、詳細の数字はすぐに説明はできないが、10数社程度はあったと記憶している。</p>
B委員	<p>24時間体制で、利用者にとっては非常にうれしい事業所だとは思う。来年度から介護報酬が下がるのに、事業者を増やそうと思うと、なかなか大変ではないかと思う。何か考えている対策はあるのか。</p>
事務局 (高齢者支援課)	<p>事業者が増えない一因として、訪問看護が利用者宅に行った報酬よりもこの定期巡回のほうが安くなる現状があるため、県が差額分を埋める補助金の制度がある。県が4分の3、市が4分の1を補助しなるべく事業者の負担を抑えるような政策はとっている。</p>
会長	<p>制度設計が厳しい状況であるが増えてくることを期待している。 その他に質問は？</p>
A委員	<p>定期巡回のサービスが新規導入した地域が夢前町なので、大変役に立つサービスと思う。反面、広範囲になるため街中で巡回するのとでは手間とコストが違う。 質問は開設直後であるが利用者2名というのは少ないのではないかと他と比較しオーダーが出ないような状況が夢前であるのか。 エリアによって何かメリハリをつけたりすることがあるのかについての考えを伺いたい。</p>
事務局 (高齢者支援課)	<p>エリアによるところでは都市部の方が当然住宅が集中しており回る側にしたら効率的ではある。 現在の利用者2名は、同じ法人がしているケアハウスの入居者と聞いている。夢前町内ではま利用がない。住民にも聞いたが、現在ヘルパーを利用しているから必要ないなどの回答で、今後広がることを期待したい。</p>

<p>会長</p>	<p>施設を整備するにも、地域の人口やそれぞれのニーズの見え方などは、難しいところがあるのかと思う。</p> <p>とりあえず1つ増えたという事で今後期待したい。</p> <p>次に、地域包括支援センターの運営協議会に移りたい。</p> <p>事務局よりご説明をお願いいたします。</p> <p><b>(2) 地域包括支援センター運営協議会</b></p> <p><b>①地域包括支援センターの運営に関する報告</b></p>
<p>事務局 (地域包括支援課)</p>	<p><b>【資料2】(1) 地域包括支援センターの運営に関する報告、の包括的支援業務、の活動実績について説明について説明。</b></p> <p>(質疑応答)</p>
<p>C委員</p>	<p>姫路市西播介護サービス連絡協議会です。</p> <p>認知症初期集中支援会議の実績の報告について。</p> <p>生活支援検討会議のケースが伸びない、それに反し訪問型はかなり人数的に増えている、地域包括支援センターのみの訪問も計上とのこと。対象者へは早急な対応、特に認知症の方は早急な対応が必要であるが、まず書類を作り包括支援課に提出する等事務処理が煩雑となっていることも件数が伸びない一因と感じる。手続きがもう少しクリアになると、非常に対応しやすい。</p> <p>地域マネジメント会議（地域ケア推進会議）について</p> <p>準基幹で実施しているが、まず支え合い会議で、課題が抽出をされ次に、地域マネジメント会議で医療連携会議や生活支援体制整備の会議に割り振りし検討している流れがあるが、この課題がなかなか、自分たちのところにまで届いてないというのが正直な感想。</p> <p>可能であれば、この地域マネジメント会議に、例えば包括の世話人会の方からも出席をさせていただきたいという思いもあり提案したいがいかがか。</p>
<p>事務局 (地域包括支援課)</p>	<p>1点目の認知症初期集中支援会議の生活支援検討会議の事例が伸びないというところは事務局も認識している。現在1事例について半年</p>

	<p>間に3回の会議で意見や対応を協議している。初回の事務的手続き等を簡単にすればいいのではという意見もあり現在、見直しを考えている。</p> <p>次に地域マネジメント会議について、ご指摘のところは、以前からご意見をいただいていたもので、今年度は少し広くとらえ地域介護に関するもの、生活支援に関するものに大きく分類し、課題整理をするよう見直しを検討しているところである。</p> <p>世話人会からの出席については、別途回答したい。</p>
D委員	<p>地域マネジメント会議は、分類方法を変えて課題解決を検討する会議につなぐよう対処していくという報告を聞き、ずっと言い続けてきたところを検討いただけるということで安心した。</p> <p>もう1点は、大きく漠然とした質問になるが、ここでは数字の報告を受けたがその中で、トピックスや課題の主なものは一体どんなものがあるか、国などからトップダウンでやっていかないといけないものと、姫路市独自で、どうしてもこの課題が多くあり何とかやっていかないといけないものは何か、説明が難しいかもしれないが少し深まる話を聞きたい。</p>
会長	<p>今の話は、実績の中の、質的なところ、事務局の説明の中に随所であったと思うが、優先して、ここが大きな課題としてとらえたとか、今後ここを改善しようと思っているところ、優先順位についても検討の方向性でもよいので説明の追加をお願いしたい。</p>
事務局 (地域包括支援課)	<p>地域マネジメント会議については4圏域で会議をしている最中である。具体的事例としては、飾磨圏域では、支援者がいない方の受診支援や生活支援、保証人の問題などに困っていることがあげられる。ACPも絡め、この対象者をどう支援するか、何かガイドライン的なものがあればといった意見が出た。ガイドラインを作成するかは検討事項になるが、何か所も同様の課題が上がっている。</p> <p>ACPについては今年度、市でも医師会の部会で意見をいただきACPのパンフレットを作成するという事も聞いている。</p>

E 委員	<p>関連として、兵庫県介護支援専門員協会姫路支部役員会でまとめをした一部をご紹介したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 支援者が認知症の人や支援者が認知症でもできている活動についてアセスメントできる</li> <li>2. ケアマネジャーが疾患特性に応じたプラン作成ができるようになる。</li> <li>3. ケアマネジャーが口腔に関するアセスメントができるようになる</li> </ol> <p>という課題があり、各包括や協会、市の社会福祉協議会の対応について共有した。特に、独居が増えていることに関し、地域で支えていると言っても仕組みができ上がりにくい、能力があっても能力を生かし切れるツールが何もないこと、などが課題に挙げた。</p> <p>また、援助者の技術アップや認知症の対応、特に認知症本人の意思や、自主性より、介護する側の利便性等優先しがちであり援助者として見直していく必要があるのではないかと思う。</p>
会長	<p>専門職の力量形成や、能力向上、特に認知症総合支援事業やACPというところに繋がっていく</p>
A 委員	<p>医師会は、少し違う話となるが、現在、診療報酬改定がある、全体の流れとしては医療と介護の連携に点数がついている。今まで医療が介護サービスに踏み込んでも、評価されなかったが、全部評価されるようになってきている。やはり国も考えていることだと思う。</p> <p>そう思ってこの実績を見ると、医療介護連携を図るために様々なものがあり、ありがたいと思った。</p> <p>姫路市医師会でもケアマネジメント力向上会議や地域マネジメント会議に出席している。認知症の初期集中支援事業の話があったが、これこそが医療と介護の接点。</p> <p>認知症で在宅にいて医療に繋がっていない人をどうやってつなげるかといった会議。医療と介護は非常に繋がりにくいところがあり、お互いにハードルがある。難しい事業だと思っているがいろいろ症例やわかってくることもあり、必要な事業と思った。</p>

D委員	<p>医療介護連携する意味では、ハードルは高いが国の動きも変わり、これだけリソースも出ていることは頼もしいことだと思った。</p> <p>もう少し詳しく聞きたかったのは、専門職の話、暮らしの困りごととしてどんな内容が上がってきているか、聞けたらと思うがどうか。</p>
事務局 (地域包括支援課)	<p>地域で見守っていただくことは必要であるが、生活支援について、見守りや通いの場に行きたいが、足がないとか、頼る人がいないなどの課題もあったと思う。9期計画で、生活支援体制検討会議につなげて、地域の支えあいというところを検討していく、その地域だけでは解決できないこともあるので、総合事業の見直し等、検討していく。</p>
E委員	<p>少し補足すると、特に通院に関すること、通院を援助する仕組みがないので、お金のある方は介護タクシー使うなりできるが、お金がない方に関して、誰が援助するのかと言うところが宙に浮いていることが多くある。そのため通院を諦めたり回数が減る方は確実に多くいるというところは、本当に検討いただきたいところ。安心サポーターで援助ができないのかというような意見も出ていたと思う。</p> <p>特に、気になるところは、先ほど足の話もあったが、地域でそれを解決しましょうと言ってもなかなか個人で車を出して、何人拾えるんだってというようなこともあるし、それが共有できるのかっていうこともあるので、その辺の仕組みづくりに関してはぜひお願いしたい。</p>
会長	<p>生活支援、通院の仕組みというところで、それぞれ事務局も担当分野があると思う。地域全体に関わるケアというような会議では、いろんな視点から、現実のお話が出てくると思う。市全体として受けとめていただいて、1歩1歩改善に向かっていただきますとありがたい。</p>
会長	<p>次のイの高齢者人口に基づく配置基準配置状況の方に移らせていただきます。</p>

事務局 (地域包括支援課)	引き続き担当者より 高齢者人口に基づく職員の配置基準及び配置状況について説明
会長	(質疑応答) 特になし
事務局 (地域包括支援課)	引き続き、地域包括支援センターの実施、実地指導及び監査の実施に関する報告をさせていただきます。
D委員	<p>前半は数値に限って報告があり、指摘事項に関しては、記録に関する例が多いというのが分かった。</p> <p>包括は煩雑な業務が背景にあり、現場対応に錯綜することも多いため書類作成の時間をとることが難しくなっている。</p> <p>また、民生委員との関係性も深まっており良いことである反面、事務的などころ、記録や書類の作成に苦勞しているあらわれだとして聞いた。これらの諸事情を踏まえ、どんな対応をしようとしているかについて教えてほしい。</p>
事務局 (地域包括支援課)	実地指導は、年に1回、地域包括支援課と第三者機関委託して評価し、運営状況を確認している。実地指導での指摘事項は、地域包括支援センターの連絡会などで報告、各センターと情報共有し今後の運営につなげていく目的で継続していく予定である。
D委員	新しい包括もでき、始まったばかりの苦勞もあると推察するが、他の包括でも、職員は変わるなかで、包括本来の業務は大変幅広いもの、私たちの守備範囲ってどこまでかという事が多くの職員が思うところである。対応としてマニュアルの読み合わせを何回かしお互いに確認をした。初歩的なことも、うっかりしやすいことたくさんある。何か手だてを考えいただくと、深まる話もある。説明会だけで終わるのではなく、現状の研修会というのも検討いただきたい。
事務局 (地域包括支援課)	研修会に関しては、各包括に集まってもらい情報共有会として実施したように、継続した形で、年に1回できたらと考えている。その場で



F 委員	<p>指摘事項等を共有、一番いいのは何も指摘がなくなることだが、運営について注意する点など検討の1つの材料にしてもらえればと思う。</p> <p>民生委員としては包括を非常に頼りにしているが、非常に忙しい状況と思う。団塊の世代が後期高齢になり今後ますます高齢者が増えてくる。亡くなる方もあるが、施設に入る方もいる、現状は認知症の方もどんどん増えている。こういう中でこの数字、管理者は10件以内とか介護予防ケアマネジメントの件数の基準があるが、それ以上の人数だったら誰が向き合うのか</p>
事務局 (地域包括支援課)	<p>包括では資格をもった、主任ケアマネ・保健師・社会福祉士という基本職員を置くと決まっている、センターによっては、プランナーという形で、プランを作る専門の方が作る場合と、居宅介護支援事業所の方に一部委託という形で委託するケースもある。一概に全部が全部この配置基準の基本職員が持つことではない。</p>
F 委員	<p>例えば、すでに最大件数担当している場合はプランナー方が担当するのか。</p>
事務局 (地域包括支援課)	<p>プランナーがいる場合は1人最大70件までとして担当することができるが、現実的に70件持った人はなかった。どうしても包括で持てない場合は、居宅介護支援事業所の方に一部委託をする手法になる。</p>
F 委員	<p>民生委員としては地域に必ず帰ってきて欲しいと思う、包括は非常に忙しい状況。高齢者が増えて、それに対応する形で職員が増え、事務的な仕事も増えて、非常に大変な状況と思っている。</p> <p>忙し過ぎると、対応もまずくなりレベルも落ちてくると思う。</p> <p>地域では65歳以上になっていない方で、少し難しい方、精神的な問題を持っている方等も非常に増えてきている。</p> <p>また、例えば、一人暮らし身寄りのない人等の対応はどうなっているのか。土曜・日曜に電話してもつながらないことがある。</p> <p>現状は、全部包括が対応ではないか、本当に大変と思う。</p>

<p>事務局 (地域包括支援課)</p>	<p>民生委員は本当に包括さん頼りにしており、そこが崩れる(心も体も)と非常に地域が困る。</p> <p>ご指摘の通りで、実地指導時に感じるのは、行政が思う以上にセンターの職員はかなり苦勞し本来の業務がかなり大変だと認識している。そのためにもプランの件数の上限を設けている。</p> <p>それに加え、令和6年度の介護保険制度の改正があり、1つは、現状は地域包括支援センターが一部委託する形から直接居宅介護支援事業所が直接指定を受けて、そのプランを受け持てるよう指定の拡大がとられている。当然センター職員の負担の軽減が目的である。もう1つは、相談業務も一部、委託できる様に国の制度改正をしている。今後、姫路市がどうしていくかの検討が必要と認識している。</p>
<p>F 委員</p>	<p>学校問題になるが中学校区に1人スクールカウンセラーがいる。なぜ各小学校に1人の配置ができないかと思うが、包括さんも同様にまじめに対応している人ほど休んでほしいし、包括の話を聞いてもらうような相談場所などがあるのか。</p>
<p>長寿社会支援部長</p>	<p>スクールカウンセラーにつきましては、教育委員会の方に話をつなぎたい。</p> <p>土曜日、日曜日の対応については、守衛に連絡してもらえばよい。高齢者支援課や地域包括支援課なり、職員に連絡がつくようになっている。緊急事態には連絡いただければよい。</p>
<p>事務局 (介護保険課)</p>	<p>包括が疲弊しているため、相談できる場所はあるかについては介護保険課から。</p> <p>現在介護サービスの利用者からの苦情などが結構多くなっている。事業者も疲弊しているところがあり、事業者がどう対応していいのかわからないといった相談を聞く。</p> <p>事業者向けの弁護士相談が月1回、年間12回実施しているので、事業者については活用してもらおうとよい。</p>

<p>会長</p>	<p>1つは肌で感じている実感、本当に暮らしを支えながら思っている実感、実際に、包括支援センターの実態、労働あり方や改善については行政と現場とそれから市民や支援者などが同じベクトルを向いていくことが大事。</p> <p>この地域ケア推進会議でよい方向に向かって、課題を明確にしないと、来年また同じような会議しても、課題が不明確なままである。前回出たのはこういう形で改善できたよというような方向が見えればよい。特に今回委員が一旦終了となる。しっかり伝えたいことを発言いただいていると感じている。</p> <p>また、是非とも、本当に疲弊したときにどうしたらいいかというのも1つの課題として、ここの中で共有しておかないといけない</p>
<p>A委員</p>	<p>医療系サービスについて主治医の医師の意見を求めることとというのが、通所系サービスに関して、医師が指示書を出すことは多分ないと思う。これはケアマネと一緒にかかりつけ医と相談し医師の指示を確認しようということか。</p>
<p>事務局 (地域包括支援課)</p>	<p>そうです。</p> <p>診断書や指示書を紙ではなくてもよい、口頭でもいいので、意思の意見を聞いて、きちんと記録に残すことという指導をしている。</p>
<p>A委員</p>	<p>医師にしてもCMにしても結構な手間となる、もう少し簡便にならないか個人的に思うところ。</p>
<p>事務局 (地域包括支援課)</p>	<p>引き続き ウについて説明</p>
<p>会長</p>	<p>エの「令和5年度監査の結果」に関する報告につきましては、姫路市情報公開条例第7条に規定する「法人その他の団体に関する情報」に該当し、公にすることにより、当該法人等又は当該個人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるものと判断されるため、「非公開」としたい。</p> <p>本日出席の委員の方々につきましては、本協議会に係る「姫路市附属機</p>

<p>事務局 (地域包括支援課)</p>	<p>「開設条例第3条」に、委員の守秘義務の規定があるので、御理解の上、報告を受けてください。</p> <p>傍聴人はいないのでよろしいか。</p> <p>エについて説明 (質疑応答) 特になし</p> <p>【別紙3】について説明</p>
<p>会長 各委員</p>	<p>次年度出席する予定として意見をいただきたい。</p> <p>今回よりメールがよい、条件が整わない場合はしっかり対応してほしい。またパソコン持参の場合はメモをとっても良いか</p>
<p>事務局 (地域包括支援課)</p>	<p>市全体としてもペーパーレス化で動いているのでご理解いただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>今年度で委員皆様、いったん任期が終了です、皆様ご意見ありがとうございました。</p>
<p>事務局 (地域包括支援課)</p>	<p>最後に長寿社会支援部長より挨拶</p> <p>皆様長時間にわたり、今日も活発なご意見いただき本当にありがとうございます。</p> <p>2年間という期間でしたが昨年度は地域包括支援センターを公募で見直すということで、年間3回開いていただき、それ以外にも会長の方には集まっていたいただき協議もしていただいた。</p> <p>今年度は、新しい地域包括支援センター5か所開設し、会議も2回実施した。今日のご意見のように、数字の結果だけでなく、地域でどんなことが求められているのか、どんな課題が続いてしまい解決できていないのかといったご意見をいただいた。来年度以降の計画として第9期の計画3年間が始まり、これからは、高齢者は、今までの20年間ほどは増えていかないが、85歳以上が増えていく時代、その方が医療も介護も必要となるような時代になろうかと思っている。支えてい</p>

る働く人口がどんどん減ってくるため総合事業の充実や元気な間はアルバイトや、ボランティア等でご活躍いただいてご自身の介護予防にも努めていただくであるとか、今後も皆さんと一緒に考え、課題の1つでも解決できるように、お力添えをいただきたい。

本日は長時間にわたりましてご意見いただきまして、ありがとうございます。

最後になりましたが、皆様の今後のますますのご活躍を祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

どうもありがとうございました。